

夕顔

YUGAO

山之端出
合掌留

廣田 幸稔

Hirota

Yukitoshi

ごあんない 岩坪 健

狂言 二九十八 善竹 忠一郎

🌸 平成24年度(第67回)文化庁芸術祭参加



面／曲見(金剛家蔵)



会場／金剛能楽堂

TEL.075-441-7222

京都市上京区烏丸通一条下ル龍前町5901

平成24年10月7日(日) 13:30 始曲(開場12:30)

第19回廣田鑑賞会能

料金／[一般]8,000円(正面・脇正席) 5,000円(中正席) [会員]7,500円 [学生]2,500円
※東日本大震災で被災された方をご招待します。FAXまたはHPよりお申し込みください

◆ 主催／廣田鑑賞会 ◆ 指導／宗家 金剛永謹 ◆ 後援／金剛会・京都新聞社

第十九回廣田鑑賞会能

平成二十四年十月七日(日) 午後一時半始曲

ご挨拶

いつも廣田鑑賞会をご支援いただき誠にありがとうございます。お陰さまを持ちまして、小会も十年目を迎える事ができました。
能「夕顔」は、近世の能役者の書に「舞を人に許されたるシテならでははおせがたき能なり」といわれた難曲です。源氏物語を出典としています。前半は居クセのまま舞台が進行し、特にわかりやすい見せ場もなく後半の序の舞となりますが、逆に、本舞物の幽玄さを最も伝える、能らしい曲であるともいえます。小書き「山之端出」「合掌留」を加え、当流座付きの高安流ワキ方とともに金剛流ならではの舞台をお楽しみいただけたらと存じます。
みなさまのご高覧を心よりお待ちしております。

平成二十四年七月吉日

廣田鑑賞会 廣田幸稔

◆ 番組

◎午後二時半始曲

狂言 二九十八

善竹 忠一郎

善竹 隆平

後見 上西 良介

ごあんない

同志社大学文学部教授

岩坪 健

— 休憩 — 二十分

廣田 幸稔

小林 努

高安 勝久

有松 遼一

間 善竹 隆司

河村 大

久田 舜一郎

森田 保美

重本 昌也

今井 克紀

金剛 龍謹

山之端出

合掌留

廣田 泰三

金剛 永謹

廣田 泰能

豊嶋 幸洋

豊嶋 見嗣

種田 道一

今井 清隆

松野 恭憲

種田 道一

狂言 「二九十八 (にくじゅうはち)」

「京に住む男が、妻がない事から清水寺の観音堂に籠って願をかけたところ、夢のお告げを受けて二人の女に出会います。女に住まいを尋ねると、「春日なる里」「室町のかどより」「二九」と答えます。「二九」とは「2x9=18」のなぞ懸けです。
男は早速、室町の角から十八軒目の家を訪ねると、はたして先ほどの女が待つています。現在の京都市上京区九太町室町通りの辺りでしょうか。いわゆる上京の高級住宅街です。教養もあり、素性もよい女にめぐり合えた男は喜んで妻となる女を背負って我が家に帰り、末長く添い遂げよう言いながら女の被り物をおあげるのですが、最後は逃げ腰の男を女が追いかけて幕となります。

能 「夕顔 (ゆうがお)」

豊後国(現在の大分県)の僧が、京(京都府)の男山八幡宮参詣のついでに洛中の寺社めぐり、下京五条あたり(京都市下京区河原町五条)にたどりつきました。庶民の家が立ち並ぶこの辺りの、とある家の軒端から、歌を詠ずる女の声が聞こえてきます。しばらくして、その家から出てきた女に家の名を尋ねると、「こは「何某の院」とあると答えます。

「何某の院」という意味ありげな呼び方は、その昔、栄華を極めた源融の住まいの河原院の跡であることや、源氏物語で「何某の院」とだけ書かれ、光源氏の恋人の夕顔が、その河原院で物の怪に襲われて亡くなったことなどを僧に語ります。僧は、夕顔の娘・玉鬘が豊後へ下った因縁もあるので、自分が夕顔の亡き跡を申おうと申し出ます。女は、さらに、夕顔はかない身の上を語った後、かき消すように姿を隠します。

深夜、僧が法華経を誦読していると、夕顔上が生前の姿で現れます。夕顔は、僧の回向で成仏できたことを喜び、やがて明方の雲に紛れて姿を消したのです。

前シテ/里女

後シテ/夕顔上

ワキ/旅僧

ワキツレ/従僧

間/所の者

当日配布冊子 解説

同志社大学文学部教授

金沢大学文学部教授

元甲南大学文学部教授

廣田幸稔 (ひろた ゆきとし)

金剛流シテ方

先代および当代宗家・

金剛永謹と父隆一に師事

重要無形文化財保持

能楽協会理事 金剛会理事

京都市芸術新人賞 文化庁芸術祭新人賞

岩坪 健

西村 聡

西條 隆雄

水谷 弓



※当日解説付番組あります。

◎午後四時頃終了予定
都合により内容を一部変更する場合がございます。



〈次回公演予定〉 第20回 廣田鑑賞会能 平成25年 4月7日(日) 午後1時30分始曲 能「安宅」廣田幸稔 狂言 解説
 第21回 廣田鑑賞会能 平成25年10月6日(日) 午後1時30分始曲 能「井筒」廣田幸稔 狂言 解説
 ホームページ URL <http://hirota-kansyokai.la.coocan.jp> 右のQRコードで携帯からもアクセスできます。

FAXにても、ご予約を承ります。 廣田鑑賞会 075-722-9123 までご送信ください。 切符は当日受付にて、お引渡しとなります。

《第19回 廣田鑑賞会能 申し込み》

■ お名前

■ ご住所

■ お電話・FAX

一般券 (8,000円/正面・脇正面席) 枚 学生券
 一般券 (5,000円/中正面席) 枚 (2,500円/学生席) 枚

会員入会 (第19回、第20回 年2回公演分正・脇席) 会員7,500円 (年会費 15,000円) 第19回のみ ※ 内にチェックして下さい

チケット取扱所 ●ローソンチケット(Lコード 54217) ●金剛能楽堂075-441-7222 ●京都新聞社文化センター ●檜書店 ●京都会館プレイガイド 075-771-6056 ●廣田鑑賞会 075-722-9123